

# オーブン・コム

## Open Com

2018 No.40

開放型病床をもつ開かれた病院として、  
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、  
心かよう安心の医療を目指します。

ご挨拶	2~3
ICT(感染対策チーム)について	4~5
NST(栄養サポートチーム)について	6~7
部長紹介	8~9
トピックス	10~11
「看護の日」イベントを開催しました ケア連携の会 開催報告	
ICTコラム「念のための抗菌薬にはデメリットもあります」	12
禁煙外来のご案内	12
当院の活動内容を掲載している記事	13
かかりつけ医さん こんにちは	14~15
大阪プレストクリニック 中島小児科診療院 あさひ耳鼻咽喉科 松本歯科	
みなさまの声 Open Win/d より	16
受診時のお願い	16
院内施設のご案内	17
各種教室・公開講座・院内の公開講座	18~19

# ご挨拶

JCHO 大阪病院 院長 山崎 芳郎

広報誌オープンコム平成30年度第40号を刊行するに際し、一言ご挨拶申し上げます。

新年度に入ってから、大阪府北部地震・西日本大豪雨・体温を越す猛暑・逆走台風など想定外(?)の異常気象がもたらす自然災害が多発しており、甚大な被害を受けられた病院と職員・患者さんの皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。新築間もない当院では、周辺交通網の乱れによる影響を若干受けたに過ぎませんでした。同じJCHOグループで震源に近かった星ヶ丘医療センターは震度6弱の揺れに見舞われ、人的被災こそ免れたものの、旧館を中心に多くの亀裂や段差が生じて、現在でも一部の大型エレベーターが運行不能であり搬送に不便さが出ているとの事です。

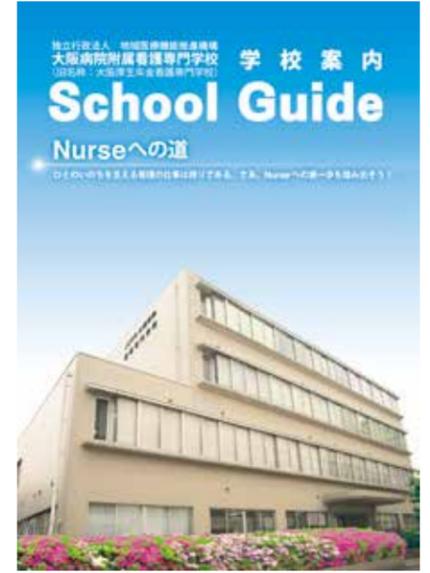
当院としては、看護協会やリハビリ学会などからの医療救護に対する活動支援の要請に可及的協力して参りますので、ご連絡のほどよろしくお願い致します。

さて、公設公営の独立行政法人 地域医療機能推進機構 (Japan Community Healthcare Organization: 略JCHO ジェイコー) は、平成26年に全社連・厚生団・船保協会といった全く歴史素地の異なる3団体に属していた全国57病院が、一層公的な性格を有する病院群として、新たな道程を歩み始めて満4年が経過しました。JCHOの名称も漸次世間に浸透してきた感がありますが、今年第一期中期計画期間の最終年であり、かつ第二期へ向けてのターニングポイントとして重要な年と考えています。経営面の収支改善を常に念頭に入れて日常診療に奮励努力してまいりますが、本号では、当院が従前から目標課題としてきた①良質な医療の提供 ②次世代を担う人材育成 ③信頼されるチーム医療の拡充を達成する上で必要不可欠なJCHO大阪病院附属看護専門学校の横顔を紹介させていただきます。

本校は、昭和27年開設された大阪厚生年金病院の敷地内に、昭和33年に厚生年金病院大阪高等看護学院として創立されました。その後、昭和47年には3階建ての校舎(現在は院内保育園などが使用中)に改築され、昭和63年には地下1階の視聴覚教室と体育館を備えた新校舎が竣工され現在に至っています。学校の名称も昭和53年には大阪厚生年金看護専門学校となり、

平成26年4月からは厚生年金事業団がJCHOへ組織移行するに伴いJCHO大阪病院附属看護専門学校となりました。

開設当初は1学年の定員が20名でしたが、昭和52年からは1学年40名に増員し、経験豊かな指導教官をはじめ、多くの病院職員のご尽力により、直近18年間の看護師国家試験合格率99.4%を誇りとし、現在までに2,000余名の優秀な卒業生(その8~9割は当院に就職)を輩出して参りました。そして、今年創立60周年を迎えて、今後は医療と介護の融合を図る地域包括ケアシステムの構築を目指す大阪病院において、チーム医療を担う認定/専門/特定看護師の素地を育成する学校として、益々重要な立場となっていくと考えられます。これもひとえに関連各位のお陰と感謝申し上げますとともに、引き続きご支援・ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。



## I. 病院の理念・基本方針・看護部の理念・看護部の方針

### JCHOの理念

我ら全国ネットのJCHOは地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

### JCHO大阪病院の理念

- 1. 高度で安全な医療を目指します。
- 2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
- 3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
- 4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

### 地域医療支援病院としての基本方針

- 1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
- 2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
- 3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
- 4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
- 5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
- 6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
- 7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
- 8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
- 9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

- 10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
- 11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

### 看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

### 看護部の方針

- 1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
- 2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
- 3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
- 4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
- 5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
- 6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

## II. 患者さんの権利と責務

### 患者さんの権利と責務

- 1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
- 2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
- 3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
- 5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんと病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

# ICT(感染対策チーム)について

## ICTってなに？

感染症担当部長(内科) 中村 匡宏 (ICD)

### 1) ICTとは

ICTは感染対策チーム(Infection Control Team)の略称です。病院内では、抗菌薬(抗生物質)が効かない薬剤耐性菌が発生したり、医療処置に伴う感染症を発症したりすることがあります。ICTはこのような耐性菌や感染症から患者さんや職員を守るための活動を行う組織です。

感染対策の知識と経験を持つ医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務職員など様々な職種でチームを構成し、診療科、部門に関係なく横断的に活動しています。具体的な活動としては耐性菌や感染症の発生状況の監視(サーベイランス)、病院内の回診、職員に対する教育活動やコンサルテーション、マニュアル作りなどを行っています。

### 2) 感染対策

耐性菌や院内で発生する感染症を完全に0にすることは残念ながら難しいです。しかし、適切な感染対策によって、0に近づけることは可能です。MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、多剤耐性緑膿菌などの薬剤耐性菌は、病院内では医療者を介して、広がりやすいです。ICTは耐性菌の伝播を防ぐために、手洗いやマスク、手袋、ガウンなどの防護用具の着用など基本的な感染予防策を徹底するための活動を行っています。

手術部位感染、血管内留置カテーテル関連血流感染症、人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連尿路感染症などの病院内の医療行為に関連して発生しやすい感染症は医療施設関連感染症と呼ばれていますが、これらの感染症も手洗いを徹底したり、適切な消毒をしたり、不必要なカテーテルを減らしたりするなどの感染対策を行うことによって減らすことができます。

耐性菌や医療施設関連感染症以外にもインフルエンザ、ノロウイルス、結核などの伝染しやすい感染症患者が入院した場合や院内で発生した場合も、これらの感染症が病院内で拡散しないようするための対策も行っています。

### 3) 抗菌薬の適正使用

耐性菌は国内だけではなく、世界的な問題となっており、このまま何の対策もとらずに、現在のペースで耐性菌が増加した場合、2050年には1000万人(3秒に1人)の死亡が予想され、癌による死亡者数を上回ることとなります。耐性菌出現の主な原因は抗菌薬の不適切使用です。新しい抗菌薬を開発しても耐性菌は出現します。抗菌薬は使えば使う程効果を失っていく薬剤です。長く使えるように大切に使用しなければいけません。

また、耐性菌の問題だけではなく、抗菌薬には副作用があります。間違った使い方をすれば、かえって状態を悪化させることもあります。ICTでは副作用、耐性菌の出現を最小限にして、最大限の効果が得られるように、抗菌薬の適正使用を推進しています。

## 当院ICTの特色

- ・感染症専門医と感染管理認定看護師が専従で活動しており、日中はいつでも患者さんや職員からの感染症診療や感染対策についての相談に対応しています。
- ・薬剤耐性菌やその他の感染症サーベイランスを実施し、院内の感染症情報をいち早く察知し、発生時には早期に適切な対応が実施できる体制を整備しています。
- ・重症感染症の患者さんに対して、迅速に適切な治療が提供できるよう、微生物検査室が日勤帯365日稼働しており、グラム染色や血液培養、抗酸菌検査が実施できます。
- ・抗菌薬の乱用をさけるために、広域抗菌薬や抗真菌薬、抗MRSA薬の許可制を導入し、担当医と感染症専門医が相談の上、使用できる体制としています。
- ・ICT夜間休日ホットラインがあり、夜間休日時間帯も院内で感染症の対応に困った場合には、感染症専門医や感染管理認定看護師が対応できる体制としています。
- ・ICTラウンドを1回/週実施。病棟やユニット、外来等をラウンドし、清潔な環境保持と感染対策が適切に実践できるよう監視と指導をしています。
- ・院内職員向けに感染症情報を提供する「ICTニュース」を2ヶ月に1回発行しており、昨年5月には100号記念号を発刊しました。



(2018年8月撮影)

## メンバー構成(職種)、活動内容

- ・感染症専門医 / Infection Control doctor (以下 ICD) : 1名  
感染症診療に係る相談と指導、感染症診療に係る質向上、職務感染予防の推進と発生時の診療など。
- ・ICD : 2名 (小児科医、循環器内科医)  
コアリンクドクターとして、リンクドクターの指導や ICT と診療科との窓口、診療科における感染対策の推進など。
- ・外科医 : 1名  
コアリンクドクターとして、リンクドクターの指導や ICT と診療科との窓口、診療科における感染対策の推進など。
- ・感染管理認定看護師 : 2名  
感染対策に係る相談と指導、サーベイランス実践、職務感染予防の推進、職員のワクチンプログラムの立案など、院内における感染管理プログラムの立案と実践など。
- ・臨床検査技師 : 2名  
病院で問題になる微生物検出時のレポート作成と報告、アンチバイオグラムの作成など。
- ・薬剤師 : 2名  
抗菌薬使用量の把握、許可制抗菌薬の使用期間の管理、抗菌薬 TDM の実施と投与設計の支援など。
- ・事務員 : 1名  
ICT 活動における事務業務全般。職員の健康管理とインフルエンザや流行性ウイルス疾患、B 型肝炎ワクチン接種に関する計画・案内・調整など。

# NST(栄養サポートチーム)について

臨床栄養担当部長(外科) 野呂 浩史

## NSTってなに?

NSTはNutriton Support Team(栄養サポートチーム)の略称です。

現代日本においても、入院する人の中には、栄養状態に問題を持った人がたくさんいます。高度な手術、最新の薬も、土台となる栄養状態が悪いと十分な力を発揮できません。

また、専門分野が細かく分かれた現在の医療において、主治医だけでは栄養管理まで十分に手がまわらない場合も決して珍しくはありません。

NSTは主治医と連携して、患者さんの治療を栄養面から支えるのが仕事です。

## 役割と目的、当院NSTの特色

食事をうまく飲み込めずに誤嚥してしまう人、肝臓の悪い人、腎臓が悪く透析が必要な人、心臓が悪く水分制限が必要な人、それぞれに応じた栄養の処方箋が必要です。

そのためには、口からの食事、静脈から輸液、胃瘻・空腸瘻から経腸栄養など、あらゆる経路を使って最適なメニューを組み立てなければなりません。

そのためのカテーテル挿入やポート留置、胃瘻・空腸瘻の造設や管理など、技術的な要請にもすべて対応できなくてはNSTの役割は果たせないと考えています。

当院では、先天的疾患を持ったお子さんから高齢者まで、さまざまな方が入院・通院されており、すべての患者さんに、栄養に関する専門的知識と技術を提供できるチームでありたいと思い、頑張っています。

日本静脈経腸栄養学会のNST稼働施設認定を受け、NST専門療法士認定教育施設でもあります。

## メンバー構成(職種)

・当院NSTのメンバーは医師(外科、内科、リハビリ科)、栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士で成り立っています。

食事内容や栄養補助食品は栄養士、薬の飲み合わせや副作用・点滴の配合は薬剤師、嚥下の評価や訓練は言語聴覚士、というようにそれぞれの専門性を生かして患者さんに最適な栄養サポートを作り上げていきます。

## 活動内容

・すべての患者さんは入院時から定期的に栄養状態を評価されています。担当者が患者さんに、栄養サポートの必要性を感じると、NSTに情報が届きます。発信者は必ずしも主治医である必要はなく、リハビリ担当の理学療法士から、リハビリ強化のための栄養不足が挙げられることもあります。

・栄養サポートが必要な患者さんに対して、週に1回の回診・カンファレンスが行われます。

そこで治療計画を立て、また後日必ず最新の状態に応じた再評価・修正をしていきます。

・年に2~3回、院内で栄養療法に関する勉強会を開催し、全員のレベルアップを図っています。

・年に1回は外部から講師を招聘して講演会を開催し、最新の情報にも触れるようにしています。



## かかりつけ医の先生へのメッセージ

高齢化が進み、誤嚥やサルコペニアはどこでも起こりうる問題となっています。その予防には栄養とリハビリテーションが不可欠であり、「急性期から自宅へ」継続性のある対策を地域の皆様と連携して模索していきたいと考えています。

## 一口コラム

ヒトは24時間、ベッド上で動かなくても、「息をして心臓を動かしているだけ」で意外と多くのエネルギーを費やしています。

基礎代謝といって身体の小さい高齢者でも700~800kcal前後はあります。

これ以下の栄養しか投与されないと、生きていくためにまさに自分自身の身体を削ってエネルギーに変えていくことになります。

わずか数日でもこの状態が続けば、身体は「弱り」、筋肉も削られてもともと余裕のない人は簡単に歩くことも困難になってしまいます。

栄養管理は「いつやるの?今でしょ!」が大切なのです。

# 部長紹介 (氏名の五十音順)



## 五十嵐 渉 研修担当部長 (プライマリケア診療部)

**出身大学** 近畿大学

**専門分野**  
一般感染症/内科

**診療に当たっての信条・モットー**

部分にとらわれず総合的に考えること。

**メッセージ**

救急外来という静と動が一瞬で入れ替わるような場所で、研修医と一緒に診療しています。その中で、判断の妥当さやタイミングなどを主体的に考えるように教えることができたらと思っています。



## 坂浦 博伸 脊椎外科診療部長

**出身大学** 大阪大学

**専門分野**  
脊椎外科

**診療に当たっての信条・モットー**

脊椎疾患のみでなく患者さんの全身状態や家庭環境、社会的役割までも含めて診療する姿勢を大切に、治療方針を決定しています。また、手術の目的を確実に果たすことが第一ですが、臨床解剖学や生体力学に基づいた、より合併症が少なく、患者さんが失うものが少ないといった意味での低侵襲脊椎手術を目指しています。医療経済のみでなく、社会経済的影響まで考慮し、EBMをベースにテラーメイドの全人的医療を提供できる脊椎外科医に少しでも近づけるよう努力して参ります。

**メッセージ**

医療の専門細分化が進んだ今日、木を見て森を見ずといった傾向に陥入ることが多いですが、森から見て各々の木にどのような関連があるのかといった視点も重要と考えており、最近では生活習慣病やそれらに基づく腎機能障害や動脈硬化など全体的要因が脊椎変性疾患の病態や治療成績に及ぼす影響についての臨床研究に取り組んでいます。今後、私が理想とする脊椎外科を目指していくに当たりまして、倍旧のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしく願い申し上げます。



## 竹原 友貴 皮膚科診療部長

**出身大学** 大分医科大学

**専門分野**  
アトピー性皮膚炎/フットケア

**診療に当たっての信条・モットー**

“自分が病気になる時にかかりたい医師”を意識して診療しています。

**メッセージ**

皮膚疾患は、手術が必要なものや慢性疾患で原因が不明な疾患など、その性質は様々です。少しずつ病気のメカニズムが解明されつつある部分もあり、最近では、乾癬や蕁麻疹、アトピー性皮膚炎等で、新しい注射薬等の最新の治療薬も登場し、治療の選択肢が増えています。一方で、従来の外用治療や保湿の重要性も再認識されています。当科ではより正確な診断をめざし、疾患や重症度に応じて外用、内服、光線、注射薬等を組み合わせ治療を行っていきます。難治性の皮膚疾患でお困りの患者様が、あきらめてしまわれずに、もっと良くなるよう、一緒に考えていきたいと思ひます。



## 千葉 三保 人間ドック担当部長 (消化器内科)

**出身大学** 福島県立医科大学

**専門分野**  
消化器内科

**診療に当たっての信条・モットー**

最新の知見に基づいた医療を提供することや患者さんやご家族の立場に立って医療を考えることを心懸けています。

**メッセージ**

健康管理センターでは日本人間ドック学会で推奨されている基本項目を含む1日ドック、2日ドックをはじめ、肺がんドック、脳ドック、大腸CT、大腸カメラなどのオプション検査を取り揃えています。病院併設ですので、各科と緊密に連携し、専門医の指導のもと質の高い検査や結果判定を提供しています。結果判定で異常所見があった場合は、人間ドックより当該科へ御紹介させていただくことが可能です。また緊急性を求められる異常所見があった場合には、速やかに受診者へ連絡し、受診勧奨をいたします。生活習慣病を含む各種疾患の早期発見・早期治療によって、地域の皆様の健康維持と健康寿命のお手伝いをさせていただきたいと考えています。これまで消化器内科で培ってきた専門的知識を健診分野に生かしていきたいと思ひます。



## 西川 昌孝 リウマチ科診療部長

**出身大学** 滋賀医科大学

**専門分野**  
関節リウマチ/変形性関節症/低侵襲人工膝関節置換術 (MIS-TKA) 低侵襲単顆式人工膝関節置換術 (MIS-UKA)/人工足関節置換術/人工足趾関節置換術 骨再生 (再生医学)

**診療に当たっての信条・モットー**

一律な治療だけでなく、年齢、合併症、活動性等様々な要因を考慮して個々の患者さんに合った治療法を選択していきます。

**メッセージ**

関節リウマチは生物製剤等を使用し十分な治療を行えば寛解に至り関節変形を抑制できる時代となりました。また高齢に伴い変形性膝関節症の患者さんは増加の一方です。高齢でも元気な患者さんも多く、まだまだしっかり歩きたい方には手術治療をお勧めします。実際日本全体では年間8万人以上が人工膝関節手術を受けておられます。関節リウマチに対する薬物治療、人工膝関節手術共に責任を持って対応させていただきます。特に人工膝関節手術に関しては多数の経験があり自信を持っています。難治症例、重度全身合併症等他院で対応困難な症例に対して手術を行うことも当院の使命と考えております。

**資格、等**

医学博士(大阪大学)/日本整形外科学会専門医/日本整形外科学会認定リウマチ医  
日本整形外科学会認定スポーツ医/日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医  
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医/日本リウマチ学会専門医  
日本リウマチ学会指導医/日本医師会認定産業医/義肢装具等適合判定医



## 野呂 浩史 臨床栄養担当部長 (外科)

**出身大学** 大阪大学

**専門分野**  
消化器外科/上部消化管(食道、胃)/内視鏡外科手術  
代謝栄養管理/栄養管理手技(中心静脈アクセス(CVポート、PICCなど)、胃瘻、腸瘻)  
NST(栄養サポートチーム)主宰

**資格、等**

日本外科学会専門医  
日本がん治療認定医  
日本静脈経腸栄養学会認定医  
TNT 講師

**診療に当たっての信条・モットー**

病名、病状などすべてを包み隠さず、わかりやすい言葉で理解してもらい、一緒に考えて治療をしていくことが大事だと思っています。

**メッセージ**

栄養管理はすべての治療の土台です。食べてもらうことは大事ですが、患者さんの頑張りだけに頼るのは専門的な治療とは言えません。カテーテルや胃瘻などを積極的に活用して、「元気になってもらう・家で過ごせるようになってもらう」ことを目指します。



## 細川 清人 耳鼻咽喉科診療部長

**出身大学** 大阪大学

**専門分野**  
音声障害/頭頸部腫瘍

**資格、等**

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・指導医  
日本気管食道科学会専門医  
頭頸部がん専門医

**診療に当たっての信条・モットー**

患者さんの自覚症状についてよく耳を傾けて、患者さんのニーズに合った検査および治療を行い、皆さんに満足戴けるよう日々努力しています。

**メッセージ**

耳鼻いんこう科は、聴覚・嗅覚・味覚・平衡感覚などを扱う感覚器のエキスパートであると同時に、摂食嚥下・音声言語・呼吸などの機能と、それに必要な口腔・咽頭・喉頭・鼻腔の専門的診療を行う診療科です。当院では、耳鼻いんこう科のあらゆる疾患に対応しますが、特に音声障害患者さんの専門的診療に注力しています。手術対象症例のみならず、原因がはっきりしないような音声障害の患者さんの受診もお待ちしております。また、悪性腫瘍との鑑別が必要な頭頸部腫瘍についても適切に診断し、必要に応じた治療を考慮します。



## 山田 寛之 小児救急担当部長 (小児科)

**出身大学** 大阪医科大学

**専門分野**  
小児消化器病  
小児救急

**診療に当たっての信条・モットー**

こどもに優しく、母に優しく、父にも優しく。

**メッセージ**

病気のこどもたちにとって病院はとっても怖いと感じてしまいます。また、親御さんにとってお子様の突然のご病気はとっても不安で心配なことです。当院の小児救急は病気のこどもや親御さんの不安や心配が少しでも軽減できるように、迅速な診察、検査・診断と、丁寧にわかりやすい対応・説明をこころがけています。小児科医一同、救急外来・小児科外来・小児科病棟のスタッフと協力しながら、患者さんには当院を受診してよかったと思っただけのように、また地域の先生方には当院に紹介してよかったと思っただけのように努力して参ります。みなさまのお役に立てるよう、また今よりも多くの患者さんを診療できるように頑張っまいます!!



## 山森 英長 神経精神科診療部長

**出身大学** 三重大学

**専門分野**  
臨床精神医学

**診療に当たっての信条・モットー**

精神科医療、精神疾患の患者さん、精神症状のある患者さんは、未だに様々な偏見をもってみられている現状があります。総合病院の精神科医として、他科との連携、多職種との連携を通じて、また最先端の知見を活かした診療を通じて、少しでも患者さんを偏見から守れる一助になればと考えて日々診療しています。

**メッセージ**

総合病院の精神科医として、身体疾患により入院中の患者さんに生じた、せん妄、不眠、抑うつ等の精神症状への適切かつ迅速な対応を心掛けていきたいと思っております。当院には精神科の病床がないため、入院が必要な患者さんの対応はできませんが、外来では、認知症の診断・治療の導入・BPSDへの対応、診断の難しい精神疾患の診断、また、ストレス関連障害、不安障害、気分障害、統合失調症の治療など、幅広く対応していきたいと思っております。

**資格、等**

医学博士(大阪大学)  
日本精神神経学会精神科専門医・指導医  
日本総合病院精神医学会一般病院連携(リエゾン)精神医学専門医・指導医  
精神保健指定医



## 吉田 康之 病理診断科部長

**出身大学** 大阪大学

**専門分野**  
病理診断学

**診療に当たっての信条・モットー**

迅速かつ正確な診断を行うことを常に心がけています。

**メッセージ**

病理診断業務も従来の顕微鏡下での診断に加えて、最近の潮流として「免疫チェックポイント阻害薬」に代表されるような分子生物学的な内容を扱う機会が非常に多くなっています。そのため今後の病理診断学は、形態学に基づく診断技法と、分子生物学的手法とを車の両輪のようにして発展していくものと考えられます。私自身、これからの技能の向上、及び新しい知識の習得を目指して、医療・医学の発展に少しでも寄与できればと考えています。

## 「看護の日」イベントを開催しました

1990年旧厚生省により、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」が5月12日に制定されました。

当院でも新病院移転後、初めて2階ラウンジにて「看護の日」のイベントを開催しました。今年のテーマは“こけないからだを手に入れよう”として、ロコモ度テスト及びロコモ体操を実施しました。その他にも認定看護師による急変時の対応～もしも家族が倒れたら～、専門看護師による認知症相談窓口・緩和ケア相談窓口、看護師による身体測定・血糖測定などを行い、約110名の方に参加いただきました。「普段できない体験もあり楽しかった。」「血糖を測定する機会がなく、値が良かったので嬉しかった。」との声もいただいております。これからも地域の方々の健康を支えると同時に、地域に密着した病院として地域の方々に喜んでいただけるような看護の日のイベントにしていきたいと思っております。

(看護師長 村上 博美)



## ケア連携の会 開催報告

ケア連携の会は、地域の医療・介護関係職種の皆様と共に学ぶ、また「顔のみえる」関係づくりを目的に続けてきました。平成24年より開催し、今年で第20回を迎えることができました。

第20回は「在宅で看取りとなった終末期がん患者事例」をテーマにグループワークを行いました。

当院から看護師27名、地域からは在宅医や訪問看護師、ケアマネージャー、病院看護師など、あわせて32名の方に参加いただきました。グループワークでは、どのように連携すればシームレスな支援ができるのか、それぞれの職種の立場をふまえた活発な意見交換が行われました。また、継続して意思決定を支援することやグリーフケアの大切さなど、広い視点で考えを深める機会となりました。



次回以降の講演にも、がんや在宅における終末期医療に関するテーマを取り入れたいと考えています。

今後の具体的な予定が決定次第、ご案内させていただきますので、皆さまの参加をお待ちしております。



### 今年度の予定

日時	内容(テーマの詳細は未定)・場所	
<del>第21回 9月11日(火) 18:00～19:30</del>	<del>テーマ:終末期がん患者の在宅医療 講演:JCHO 大阪病院附属看護専門学校 視聴覚教室 講師:中村クリニック院長 中村 幸生先生</del>	<del>終了</del>
<del>第22回 10月10日(水) 18:00～19:30</del>	<del>事例検討:JCHO 大阪病院 講堂</del>	<del>終了</del>
第23回 12月予定	講演:JCHO 大阪病院附属看護専門学校 視聴覚教室	
第24回 2019年 2月13日(水) 18:00～19:30	事例検討:JCHO 大阪病院 講堂	

(医療福祉相談室 室長 三村 麻紀子)

## 念のための抗菌薬にはデメリットもあります

風邪を引いたときに、病院で抗菌薬をもらった経験はないでしょうか。逆に、抗菌薬の処方をお願いしたことはないでしょうか。残っていた抗菌薬を自己判断で飲んだことはないでしょうか。抗菌薬はウイルスには効きません。そして、風邪はウイルスが原因です。だから、風邪に抗菌薬は効きません。しかし、実際は、「風邪かもしれないけど、もしかしたら、細菌による肺炎かもしれない。」「最初はウイルス感染でも後から細菌感染を合併するかもしれない。」、このような不安から風邪には無効だと分かっているにもかかわらず、念のため抗菌薬が使われることがあります。確かに、この“念のための抗菌薬”によって、救われることはあるかもしれませんが、効果がなければ、逆に副作用でかえって状態を悪くしてしまうこともあります。アレルギーはどんな抗菌薬でも起こりえます。また、下痢は抗菌薬関連によくみられる副作用です。抗菌薬を処方しないことによって、治療が遅れて重症になることもありますが、念のための抗菌薬によって重症になることもあります。稀なことですが、強いアレルギー反応で生命の危険があることもありますし、抗菌薬の種類によっては致死的な不整脈の原因になることがあります。抗菌薬を使う時はメリットとデメリットの双方を考えることが重要です。

感染対策チーム (ICT) 中村 匡宏 (ICD)



# 当院の活動内容を掲載している記事

## 当院が下記メディアに掲載されました

### 新聞記事

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内容
読売新聞	2018.3.4(日)	病院の実力「不整脈」 (2016年度治療実績)	カテーテルアブレーション(113人)、致死性不整脈(3人)、ワルファリン(30人)、直接経口抗凝固薬(200人)
読売新聞	2018.4.22(日)	病院の実力「耳・鼻・のどの手術」 (2016年治療実績)	鼓室形成術・アブミ骨手術(8件)、内視鏡下鼻副鼻腔手術(26件)、喉頭微細手術・音声機能改善手術(150件)
読売新聞	2018.5.20(日)	病院の実力「関節リウマチ」 (2017年治療実績)	新規・再診患者(883人)、生物学的製剤などを使用(315人)、関節手術(45件)、専門医(5人)
読売新聞	2018.6.24(日)	病院の実力「手の外科手術」 (2017年治療実績)	総手術件数(407件)、骨折・脱臼・靭帯損傷(90件)、末梢神経障害・損傷(75件)、ばね指・ドケルバン病(50件)、関節疾患(108件)
読売新聞	2018.7.18(水)	主な医療機関の膝関節の治療実績(2017年)	1日当たり平均外来患者数(28人)、運動療法の指導者(医師、理学療法士)、骨切り術(47件)、全人工関節置換術(170件)

### 雑誌記事

雑誌名	掲載 P	タイトル・内容
「FLASH」 2018.4.24号(1465)	P.12	【大リーガー大谷選手の故障の記事】に島田幸造部長(救急部・スポーツ医学科)がコメントする

## ◆禁煙外来のご案内(予約制)

**場所** 内科外来

**日時** 毎週火曜日 14時～17時

**内容** 禁煙補助薬処方、呼気一酸化炭素濃度測定など個別指導で、カウンセリング中心です!

事前予約の上お越しください。

\*保険適応は一定の条件を満たされる方

↓  
保険改定により35歳未満の方でも受けやすくなりました。

そんなあなたに  
ぜひ来てもらいたい～

これを さいごの1本に  
しよって思ってるんだ…



**問合せ** JCHO(ジェイコー)大阪病院  
内科外来 TEL:06-6441-5451(代)

# かかりつけ医さん こんにちは

病診連携で日頃お世話になっている  
かかりつけ医さんをご紹介します。

## 福島区 大阪ブレストクリニック

院長 芝 英一  
〒553-0007 大阪市福島区大開1-13-8

TEL 06-6465-4108  
FAX 06-6465-4101  
ホームページ <http://www.osaka-breast-clinic.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~16:00	○	○	○	○	○	○*	—

\*土曜日 9:00~15:00



当院の玄関です。コーポレートカラーの  
ブルーの建物が目印です。 当院の1階受付です。建物の中は白を  
基調として、明るい雰囲気です。

2006年年金病院退職後、福島区福島1丁目で乳腺専門の  
有床診療所を開業し、2017年9月福島区野田に移転しました。  
新診療所では放射線治療や病理検査も行え、乳腺外科医7名の  
他麻酔科医、病理医、婦人科医、形成外科医各1名の計11名の  
医師で診療にあたっています。2011年より大阪府下での乳癌手術  
数が1位となり、昨年は567例の手術を行いました。開業後  
JCHO大阪病院には病診連携で非常にお世話になっております。

**診療科目**  
乳腺外科 / 婦人科

**往診**  
無

**休診日**  
日曜・祝日

**駐車場**  
無

- アクセス**
- JR 大阪環状線「野田」駅(6番出口)下車、徒歩3分
  - 地下鉄千日前線「野田阪神」(6番出口)下車、徒歩3分
  - JR 東西線「海老江」(6番出口)下車、徒歩4分

## 福島区 中島小児科診療院

院長 中島 滋郎  
〒553-0007 大阪市福島区大開2-3-5 カンザキビル2階

TEL 06-6466-1500  
FAX 06-6466-1501  
ホームページ <http://www.nakajimaclinic.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○*	○	○	○	○*	—
16:00~19:00	○	○*	○	—	○	—	—

●予防接種は毎週火曜日午前診、火曜日午後診、土曜日午前診(表内\*  
印)に予約制で行います。お電話か、受付窓口で予約をお取りください。



中島先生

当院は福島区の中でも西寄りにある小児科クリニックです。  
この数年、接種できるワクチンが増えて来たおかげで重症の感染  
症のお子さんは減少し、代わりにアレルギーや皮膚のトラブルは  
増えて来ています。JCHO大阪病院の小児科の先生方には入院  
加療を要する患者さんはもちろん、内分泌や循環器疾患の診断で  
も大変お世話になっています。また、皮膚科、整形外科、眼科、泌尿  
器科にもご紹介させていただくことが多いです。今後とも  
よろしくお愿いいたします。

**診療科目**  
小児科

**往診**  
無

**休診日**  
木曜午後・土曜午後・  
日曜・祝日

**駐車場**  
無

- アクセス**
- JR 大阪環状線「野田」駅下車、徒歩8分
  - 地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩8分

## 福島区 あさひ耳鼻咽喉科

院長 八谷 和孝  
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-2-17 阪神野田駅前ノースサイドビル1階

TEL 06-6452-3387  
FAX 06-6452-3300  
ホームページ <http://asahi-jibi.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00~12:00	○	○	○	○	○	◎	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

◎…土曜午前は13時まで  
※診療時間終了まで診療の受付をしております。  
※ご予約の方も診療時間終了までにお越しください。

**診療科目**  
耳鼻咽喉科・アレルギー科

**往診**  
随時相談

**休診日**  
木曜午後・土曜午後・  
日曜・祝日 ◎…土曜  
午前は13時まで

**駐車場**  
無(AEONまで徒歩1分、駐車  
場あり)

- アクセス**
- 阪神本線「野田」駅下車、徒歩2分
  - JR東西線「海老江」駅下車、徒歩4分
  - 地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩4分



八谷先生

2015年4月に福島区海老江にて開院いたしました。「わかり  
やすく丁寧に」「長引かせない」「患者様それぞれのライフスタイル  
に合ったオーダーメイドで」治療することを柱とし、地域の皆様  
が何でも相談できるかかりつけ医を目指して日々診療しています。

JCHO大阪病院はどの科に紹介させていただいても迅速に  
非常に高いレベルで対応していただけるため、いつも頼りにして  
おります。

今後ともよろしくお愿いいたします。

## 福島区 松本歯科

院長 松本 実  
〒553-0001 大阪市福島区海老江5-2-7 ニュー野田阪神ビル1階

TEL 06-6453-2178  
FAX 06-6453-2178  
ホームページ <http://m-matsumoto-dental.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
15:00~19:30	○	○	○	○	○	—	—

**診療科目**  
土曜午後・日曜・祝日

**往診**  
歯科

**休診日**  
有

**駐車場**  
無

- アクセス**
- 阪神本線「野田」駅下車、徒歩1分
  - JR東西線「海老江」駅下車、徒歩1分
  - 地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩1分



松本先生(後列右)とスタッフの皆さん

当院は1997年に野田阪神駅前で開院しました。高齢者や  
体の不自由な方々にもスムーズに治療を受けていただきたい  
という思いから、2008年に院内バリアフリーに施設拡大し、  
「患者様の個性」に見合った治療を心がける地域密着型の診療  
所です。口腔ケア「口腔機能管理」等にも力を入れております。  
JCHO大阪病院とも密に連携し、大変お世話になっております。

今後とも地域医療に貢献できるかかりつけ医を目指して取り  
組んでまいります。

平成29年12月から平成30年5月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は88件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は60件、合計148件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

**Q** 寝巻について、健常者ではできると思うが、手術した者とか、四肢に傷がある者がヒモで2点くる事はできません。もう少し病人にやさしい寝巻を提供して欲しい。素材についても皮膚が弱い人用のもの検討してもらえたら幸いです。

**A** 患者衣については、衛生的で、看護、ケアしやすい(着やすい、脱ぎやすい)ようにヒモ式になっています。ボタン式(高齢者などで、はめ外しが難しい場合や、外れたボタンを口に入れてしまう等の事故も考慮)やマジックテープ式は適していないようです。また、素材についてですが、薄手のものは従前の患者衣と同様、綿+ポリエステル製で、厚手のものはポリエステル100%でした。そのため患者様によっては痒みなどがあるかもしれません。綿100%が良いのかもしれませんが、頻回の洗濯が必要のため縮んでしまうことや、単価が高くなることで患者様の負担が増えることにもなります。取り急ぎ現状をご報告させていただきましたが、取扱業者にも今後の商品開発などの参考にしていただくため、ご意見の内容を伝えました。

**Q** ロビー1階に個人情報を捨てるゴミ箱が欲しい。予約票とか(当日の)捨てたいけど名前、生年月日見えるので。

**A** 個人情報が記載された用紙等の処分については、様々なご意見を頂いているところです。特殊なゴミ箱やシュレッダー等を設置した場合、ゴミ箱が倒れて個人情報が散乱したり、シュレッダーに子供が指を入れる危険性があるとの報告もあります。当院では、医事課カウンター(窓口)にて、不要な予約票等をお預かりすることとしております。いつでも、お申し出ください。適切に処分させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

**Q** 3Fの検査待ち合いの長椅子について、とても、柔らかく沈むので立ち上がりが困難でした。筋力が衰えている上に股関節が痛いので、検査担当の女性に助けてもらいました。手の力を使いたいと思って肘掛ではないので柔らかいソファでは不十分です。

**A** 3階生理機能検査室待合の長椅子について実際に確認いたしました。確かに他の診療科待合の椅子と比べますと、高さもなく腰掛けると沈み込みが強く、立ち上がるのが難しいことを確認いたしました。取り急ぎ、他の診療科待合の長椅子の一部を検査室前に設置し、近い将来入れ替えることを提案したいと思います。

## 患者さんへのお願い

## 受診時のお願い

- 診療科によって予約の患者さん限定の曜日があります(神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科)。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- 保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日(なるべく受診された月内に)、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡しく下さい。保険診療で計算しなおします。
- 当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っております。予約の際にはかかりつけ医からの紹介状が必要です。診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- 予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- 当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて  
**整形外科(リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む)の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。**過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。  
 受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。  
 なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】地域連携室 TEL: 06-6441-5451(代) AM 9:00 ~ PM 5:00(土日祝日を除く)

## 院内施設のご案内

### 駐車場



- ▶事前精算機は西側出入口(守衛室前)にあります。
- ▶ご入場は、あみだ池筋よりお願いいたします。

#### 【駐車場問合せ先】

タイムズコンタクトセンター TEL: 0120-72-8924

(利用料金)

- 一般料金 60分 600円
- 外来受診の方 60分 200円
- ・最大料金 平日1,800円 土日祝800円
- ・割引対象の方で、身体障害者手帳をお持ちの方(無料)
- ・入院・退院当日、日帰り手術、人間ドック受診の方(無料)

### 患者さん用コインロッカー

- 設置場所 1F タリーズコーヒー入口横
- 使用料金 1日1回 小型100円 中型200円
- 係員対応時間 平日 9:00 ~ 17:00  
 土日祝祭日 翌通常診察日  
 (時間外の対応はできませんのでご注意ください)
- 追加料金 午前0時をもって日数の切替えとなり、引き続きご使用の場合は、上記料金の追加となります。
- 使用期間 4日(連続)以上の使用はできません。  
 3日以内にお引取りください。(ご使用当日も含まれます)
- 使用期間の経過 4日以上経過した収容品は、規定により当所定の場所に保管します。
- 保管荷物 前項により別途保管中の収容品保管期間は30日以内で、保管料金は、ロッカー使用料と同じです。  
 (30日を過ぎた物品は処分いたします)
- 鍵の紛失 直ちに下記連絡先にお申し出ください。  
 なお、鍵交換費用として2000円いただきます。
- その他 コインロッカーの使用約款はロッカー扉裏にありますのでご覧ください。
- 連絡先 ロッカーについてのご用の方は守衛室までお願いします。

施設名	場所	施設名	場所
 タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE	1階(東)	 ファミリーマート	1階(東)
	営業時間		営業時間
	平日: 7:30~19:00 土・日・祝: 8:00~18:00 年中無休		24時間営業・ 年中無休

### ラウンジ・医療情報コーナー 当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名	場所	開放時間
 ラウンジ(外来)	2階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始
 医療情報コーナー	3階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始
		一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、医療書があります。 (利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)

# 各種教室

## マタニティクラス 問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(8階東病棟) ☎ 06-6441-5451 (代)

- 場 所/当院6階 講堂 ● 予約制
- ※各回内容が異なります。 ※祝日などにより日程が変更になることもあります。

開催日			時間
第1回	18週頃	第1・3水曜日、第2日曜日	9:30～11:30
第2回	28週頃	第4金曜日	13:30～15:00
第3回	32週頃	第1・3水曜日、第2日曜日	13:30～15:30

## 腎臓病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(血液浄化センター) ☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間/13:30～14:30 ● 費 用/無 料
- 場 所/当院6階 会議室2 ● 方 法/事前申込不要、直接お越しください。
- ※都合により下記の内容に若干変更があるかもしれません。

開催日	テーマ	担 当
11月22日(木)	慢性腎不全の食事療法 エネルギーの摂り方	栄養士
12月	お休み	
2019年1月24日(木)	腎臓病と薬	薬剤師
2019年2月28日(木)	腎臓病と検査(データの読み方)	検査技師
2019年3月28日(木)	透析療法について ①「血液透析の実際」 ②「腹膜透析の実際」	医師 (看護師)

## レッツ！糖尿病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間/14:00～16:00(受付は13:40から) ● 費 用/無 料
- 場 所/当院6階 講堂1・2 ● 方 法/事前申込不要、直接お越しください。
- ※11月は第2月曜日に開催いたします。

開催日	テーマ	担 当
11月12日 第2月曜日	世界糖尿病デー 2階外来待合(ラウンジ)にて開催	
12月6日(木)	糖尿病腎症 インスリンとはちがう！ ～インクレチン製剤について～ 糖尿病腎症の食事	医師 薬剤師 管理栄養士
2019年2月7日(木)	糖尿病における皮膚疾患 フットケア	医師 看護師
2019年3月7日(木)	糖尿病大血管障害 インスリンは良くすり 動脈硬化予防の食事	医師 薬剤師 管理栄養士

## 禁煙教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451 (代)

なぜ禁煙が難しいのか、禁煙によるメリット、禁煙成功のコツなどをわかりやすく解説いたします。どなたでも参加できます。禁煙外来を受診されるかたにはあらかじめ受講をおすすめしています。

- 開催日/第4火曜日 ● 費 用/無 料
- 時 間/13:00～14:00 ● 方 法/事前申込不要、直接お越しください。
- 場 所/内科外来



# 公開講座

どなたでも  
参加できます

## 消化器病懇話会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間/14:00～16:00 ● 費 用/無 料
- 場 所/当院6階 講堂2 ● 方 法/事前申込不要、直接お越しください。
- ※詳細については確定次第、院内に掲示します。

# 院内の公開講座 対象：医療従事者

## 院内の公開症例検討会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(地域連携室) ☎ 06-6441-5451 (代)

名 称	日 時		場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	17:30～19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	19:00～21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日	17:30～18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。開催直前までの1週間以内に地域連携室にご確認ください。

## ケア連携の会 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(医療福祉相談室：三村) ☎ 06-6441-5451 (代)

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対 象/病院看護師、訪問看護師、ケアマネージャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。  
※「医療・看護トピックスの情報提供」の開催日は、決定次第お知らせします。(6月、9月、12月)

開催日	時 間	内 容	場 所
第23回(12月予定)	18:00～19:30	講演	JCHO大阪病院附属看護専門学校 視聴覚教室
第24回2019年2月13日(水)	18:00～19:30	事例検討	当院6階 講堂1

## 公開講演会 問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(看護部教育担当：村上) ☎ 06-6441-5451 (代)

JCHO大阪病院看護部では、看護実践能力の向上だけでなく、医療安全・倫理など、様々な研修を計画・実施しています。今回は、コアレクチャーとして、スペシャリストの研修を公開し、外部の看護師の皆様に参加を受け付けます。関心のある研修への参加をお待ちしています。  
参加希望の研修がございましたら、看護部まで電話もしくは右記QRコードからご連絡ください。



日 時	研 修 項 目	
10月15・25日	感染管理	感染管理認定看護師
11月14・16日	スキンケア	皮膚排泄ケア認定看護師
12月3・27日	認知症・高齢者看護	老人看護専門看護師
2019年 1月24・31日	がん看護	がん看護専門看護師
2月12・19日	在宅療養支援	退院調整看護師
3月6・11日	栄養管理と摂食・嚥下看護	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

※時間はいずれも15:30～17:00です。  
各研修、同じ内容を2回ずつ行います。ご都合の良い日にご参加ください。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

## 外来診療 受付時間

8:30～11:30

(土・日・祝日・年末年始を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。

整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

## 一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

## NICU(新生児集中治療室) 問 TEL(06)6441-5451(代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

## 産科オープンシステム かかりつけ医の先生専用

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

## 女性医師外来 問 医事課 TEL(06)6441-5451(代)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

## 乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来

TEL(06)6441-5451(内線2319)

乳がんの早期発見にお役にください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)

## 女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL(06)6441-5451(内線2322)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)



- JR東西線  
「新福島駅」下車徒歩約5分  
※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがございます。  
※当院が一番近い出口3には階段がございます。
- 京阪電車「中之島駅」下車徒歩5分
- JR環状線  
「福島駅」下車徒歩10分  
「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄  
千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- バス  
56 大阪駅前 西島車庫方面(東行・西行)  
「福島西通り」下車徒歩5分  
「大阪福島税務署」下車約3分(駐車場側入口)
- 55 大阪駅前 鶴町四丁目方面  
(路線変更しています。ご注意ください)  
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分(53系統と同じバス停)  
「堂島大橋」(北行・南行)下車約5分  
※「堂島大橋」バス停は2か所ございます
- 53 大阪駅前 船津橋方面  
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分
- タクシー JR「大阪駅」より約10分

「堂島大橋」は工事のため車両通行止(歩行者、自転車、車いすは通行可)

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／「にっけい子育て支援大賞受賞」/女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

## 診療科等一覧

- 救急部
- プライマリケア診療部
- 内科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線診療科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科・歯科口腔外科
- 病理診断科
- 集中治療部
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は<http://osaka.jcho.go.jp/>でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

## リウマチ科

問 整形外科外来  
TEL(06)6441-5451(代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。  
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

## 集中治療部(ICU)

全室個室で、手術後(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、長時間の手術、合併症のある患者さんの手術)、院内で重症になり、集中治療の必要な患者さん、救急で来院された心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、ICU専従医、スタッフ、臨床工学技士、理学療法士などが協力して重症患者さんを治療します。

## 救急部

問 TEL(06)6441-5451(代)

時間内、時間外を問わず、内科プライマリケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。  
各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

## 内視鏡センター

問 TEL(06)6441-5451(代)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512 かかりつけ医の先生専用

## 地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

## 地域連携室 TEL(06)6441-5451(代)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

## 医療福祉相談室 TEL(06)6441-5451(代)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

## 人間ドック・脳ドック

問 健康管理センター  
TEL(06)6441-5451(代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックを中心に、オプションを含め各種ご用意しております。詳しい内容は、健康管理センターまでお問い合わせください。

申 健康管理センター予約係 TEL(06)6441-5451(代)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構(旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

<http://osaka.jcho.go.jp/>

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで